令和８年度

安曇川高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力･伝える力･協働する力・創造する力などの生きる力を育成する。
・商業・工業・ライフサポート等の特色ある学びにより、豊かな人間性を備えた地域産業の担い手を育成する。
・高校生活を通して確かな学力の定着と基本的生活習慣の確立に努め、地域で活躍するために必要な資質・能力を育成する。
・保護者や地域社会への情報発信に努めるとともに、本校の教育について理解と信頼を得ることに努める。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	生徒の自立する力・伝える力･協働する力・創造する力などの生きる力の育成に努めている。	B		
	確かな学力、豊かな人間性の育成などの教育目標に基づいて教育活動を推進している。	A		
2　学習指導	情報機器やタブレット端末・１人１台端末を積極的に活用した教育活動を推進している。	A		
	生徒の個性・興味・関心や到達度に応じた適切な指導と学力の向上に努めている。	A		
3　生徒指導	基本的な生活習慣の確立や交通安全のルールの遵守等、適切な指導を行っている。	A		
	いじめを重大な問題ととらえ、いじめの未然防止を図り早期発見と早期解決に努めている。	A		
4　進路指導	進路実現に向け、生徒一人ひとりの能力・適性に応じた進路指導を適切に行っている。	A		
	生徒に自己を正しく理解させ、生徒の学力向上・意識の高揚を図っている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や状況に応じた活動の計画・実施に努めている。	A		
	生徒会活動や部活動について生徒が主体的に活動できるように指導している。	A		
6　学校図書館	生徒の読書への関心を高めるために、図書館便りを発行するなど啓発活動に取り組んでいる。	A		
	図書の展示や配置を工夫するなど、生徒が利用しやすい図書館づくりに努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒自身が心身の健康管理をできるように支援している。	A		
	防災教育や防災避難訓練を通して防災意識の高揚に努めている。	A		
8　人権教育	ＬＨＲなどを活用し、人権意識を高める指導を行っている。	A		
	生徒の教育的ニーズに応じた援助をしている。	A		
9　環境教育	ごみの減量化と分別収集など啓発し、生徒の環境問題に対する意識を高めている。	A		
	日常掃除の徹底により、生徒の美化意識を高めている。	A		
10　事務・管理	施設・設備の適切な管理および整備に努めている。	A		
	個人情報を適切に管理し、各種証明書などの速やかな発行に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	地域やPTAおよび外部機関との連携を通じ、キャリア教育等の充実に努めている。	A		
	ホームページ、広報、メール配信などで地域や保護者への情報発信に努めている。	B		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.ado-h.shiga-ec.ed.jp/